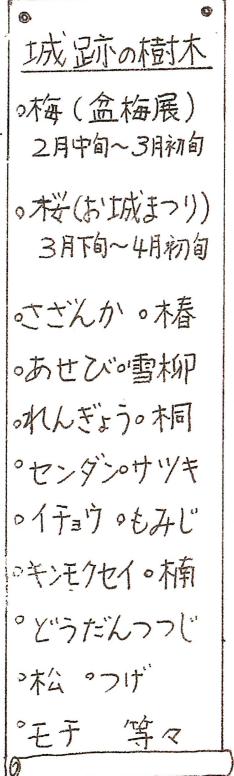
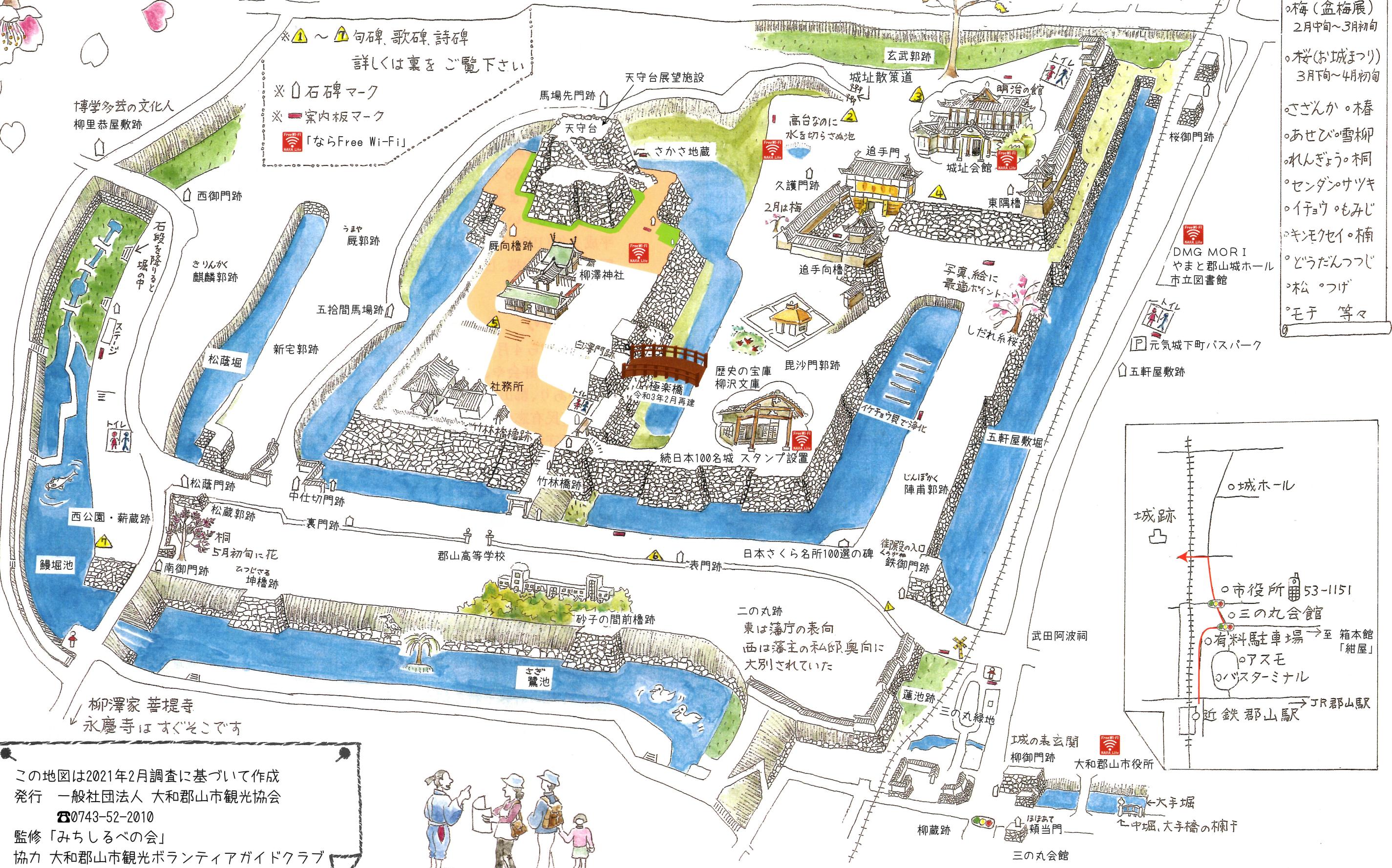


郡山城跡案内絵図



郡山城跡散策

☆ 郡山城の歴史

郡山城の築城は天正 8 年（1580 年）、筒井順慶が筒井から郡山に移った時に始められました。天正 13 年（1585 年）8 月には、豊臣秀吉の弟、秀長が郡山城に入城。秀長は紀伊、和泉、大和の三ヶ国百万石の太守・大納言として城の大拡張工事を行いました。壮大な高石垣は荒々しい野面積みで寺院の礎石、庭石、五輪塔、石地蔵等が用いられています（転用石材）。

また秀長は城下町繁栄の為、奈良や堺の商人達を郡山に呼び寄せ、地租免除や商売上の特権を与え、箱本制度という自治組織をつくりました（箱本十三町制度）。

秀長の死後、増田長盛が 20 万石で入城し、秋篠川の付け替えや溜池をつないで周囲が 50 町 13 间（約 5.5 Km）の外堀を完成させています。

徳川時代となって水野勝成、松平忠明、本多政勝、松平信之、本多忠平など徳川譜代の城主の後、享保 9 年（1724 年）柳澤吉里が甲府より 15 万石で入城し 6 代 145 年間続きました。明治 2 年（1869 年）、柳澤保申が最後の藩主であった時に版籍奉還となり、明治 6 年（1873 年）には政府の方針により城郭が全て入札売却されました。

☆ 天守台

郡山城の天守台は本丸の北端部に位置しています。上面で約 16×18m、基底部で約 23×25m、南北に少し細長い長方形で、高さは約 8.5m あります。そして、南側に高さ約 4.5m の付櫓台が取り付く「複合式天守」の形態をしています。また、天守台の標高は 81m で眺望がよく、東側に若草山、東大寺、興福寺、薬師寺、平城宮跡等、また、西側に矢田丘陵、二上山雄岳、葛城山、金剛山などが遠望できます。

平成 25 年（2013 年）度から、崩落の恐れがあった天守台の石垣の修復と、展望施設の整備をおこないました。それに先立つ発掘調査で、天守の礎石列、金箔瓦等が見つかり、1 階部分が 7×8 间の天守が豊臣政権期に確かに建てられていたことが確認されました。そして、平成 29 年（2017 年）3 月 26 日、「郡山天守台展望施設」が完成し、同年 4 月 6 日には「郡山城跡」が「続日本 100 名城」に選ばれました。

また、天守台の野面積みの石垣にも沢山の「転用石材」が積み込まれていて、なかでも天守台北面石垣の築石としてさかさまに突っ込まれている「逆さ地蔵」が有名です。

☆ 柳澤神社

明治 13 年（1880 年）旧藩士によって創建。祭神は柳澤藩の開祖柳澤吉保公。

☆ 柳沢文庫

昭和 35 年（1960 年）郡山城跡が県の史跡指定になったのを機縁として財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会として発足。（柳澤藩の諸記録、郷土資料など保存、城跡維持管理等）

☆ 城址会館

昭和 45 年（1970 年）に奈良県立図書館（明治 41 年築）を譲り受け、郡山城跡に移築開館しました。平成 9 年（1997 年）に県の有形文化財に指定されました。

☆ 追手門

「明日のお城と城下町を考える会」などの市民運動により秀長築城当時に近い形で昭和 58 年（1983 年）追手門が復元され、続いて追手向櫓、多門櫓、追手東隅櫓などが昭和 62 年（1987 年）にかけて再建されました。

☆ 郡山城の御殿桜

天正 16 年（1588 年）に、豊臣秀長が多武峰談山神社を郡山に遷座した時に桜も城内に移したと言われております。その後、柳澤吉里が郡山に入城した時（1724 年）多くの桜を補植し、御殿桜と呼び親しんでいたようです。

平成 2 年（1990 年）には「郡山城址公園」が「日本さくら名所 100 選」の地に選ばれました。染井吉野、大島桜、山桜、しだれ桜、関山など種類が豊富で花の期間も長く楽しめます。

☆ お城まつり

3 月下旬から 4 月初旬まで、満開の桜の下で「お城まつり」が盛大に開催され、明治以来の伝統を持つ金魚品評会や、源九郎稻荷神社の白狐お渡りや時代行列、市民パレードなど盛りだくさんの行事があり、郡山城跡では夜桜も楽しめます。

また、市民有志の浄財で奉納された大数珠（全長 162m、珠の直径 15cm、1080 個）で天守台を取り巻き、天守台やその周りの石垣の中に眠る多数の石仏、五輪塔など無縁仏や城史有縁の諸靈を慰める為、永慶寺、発志禪院、春岳院のご協力を得て、「数珠くり法要」が行われます。

☆ 郡山城址の句碑、歌碑、詩碑

- △「十五万石の城下へ 花の坂」青畠 ……松の坂、鉄御門跡石垣の対面に阿波野青畠の句碑
- △「大和また 新たなる國 田を鋤ければ」誓子 ……城址会館西側に山口誓子の句碑
- △「菜の花の 中に城あり 郡山」許六 ……城址会館前に森川許六の句碑
- △「ぼうせきの煙突」小野十三郎 ……城址会館南側に小野十三郎の詩碑
- △「天地の神にぞ祈る朝なぎの海のごとくに波立たぬ世を」 昭和天皇御製…柳澤神社拝殿前
- △「金魚とねこ」森口武男 ……郡山高校表門跡塀際に森口武男の童謡詩碑
- △「むら立ちて 咲く蓮のはな そと濠の たかい垣に 朝日照りつつ」耕平詠 ……西公園（城址公園）南端に土田耕平の歌碑

※△～△は表面絵図に表示